

第101号

慈心光



左右 田 雅 子

社会福祉法人 遠州仏教積善会
救護施設 慈照園 園長

新年明けましておめでとございます。旧年中は、さまざまな皆様にお世話になり、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

月からは生活困窮者自立支援法が施行されます。慈照園として、経済的に困窮しているだけでなく社会的に孤立している方に、どのような支援ができるのか模索しています。例えば、最近民生委員

北陸の伝統文化と秋の自然を満喫

一泊ゼミナール 世界遺産 白川郷へ



紅葉のすすむ合掌造りの郷を一望

平成26年10月28日から29日にかけて、白川郷と北陸めぐりに利用者31名職員5名が行って参りました。天気にも恵まれ充実した二日間を過ごすことができました。

一日目、白川郷へと向かうバスでの道中、野生の熊に遭遇するなど、案内してくれたバスガイドさんも驚く、珍しい出来事を体験することができました。

二日目は、石川県の伝統産業工芸館を見学しました。日本が誇る伝統工芸、「加賀友禅」や、今年度、無形文化遺産に登録された、「和紙」など、

静岡県浜松市中区鴨江三丁目四一三
(福) 遠州仏教積善会 慈照園
TEL 〇五三三四五二一三〇六九
FAX 〇五三三四五二一三〇七四
url www.onyx.dti.ne.jp/~jishoen

さんからの相談を受けて地域の障害者の方の訪問をしたり、障害者相談支援事業所の紹介により通所事業の訪問を利用していただいたりすることがあります。地元鴨江の他法人施設との連携も始まりました。地域の多くの窓口と連携していくことが、施設の広がりにつながるかと考え、連携を深めて参りたいと存じます。

36種類を見学しました。日本三名園の一つである「兼六園」を散策し、六つの優れた景観を見学しました。

宿泊は山代温泉に泊まり、大きな露天風呂に浸かることができ、利用者も満足した様子でした。中でも一番好評だったのは旅館での食事で、天ぷらや季節のお野菜など、旬のものを頂きました。食事の後には、職員によるゼミナール(講話)も行われ、学習の機会になりました。利用者さんは「自然がたくさんあって良かった」「突然、熊が現れてビックリした」と、話していました。



北陸の味 カニを堪能しました

Bコースゼミナール
呉竹荘ランチと
オルガン坂ウォーキング
一泊ゼミナールと同じ日に残留の利用者22名と職員8名は地元ホテル呉竹荘にて会席料理を楽しみました。その後すぐ近くの「オルガン坂」をウォーキン



しました。坂の名は、山葉風琴製作所(現ヤマハ)が、この地で初めてオルガンを製造を始めたことに由来しています。利用者の大石さんは「おしゃれ、歴史を感じる」と感想を話してくれました。

つばめ創社さんと 親睦交流会

12月1日、就労継続B型事業所の「つばめ創社」さんを迎えて、親睦交流会を開催しました。つばめ創社からは、利用者4名、職員一名に参加して頂き、じゃんけんゲームや輪投げ大会で親睦を深めることができました。同じ中区内で箱折り作業



たくさん話げできました

たま

今年4月よ会的に孤立している方達ほど仕事が見つからない、浜松市生活を対象に、状況の把握や「国保料金や公共料金等生活の立て直しに必要な滞納がある」「債務整理サービスの検討、あるい理の方法を知りたい」等の相談が多く寄せられています。

「生活困窮者支援のための 相談窓口」

浜松市生活自立相談支援センター
所長 上原 久

「生活困窮者自立支援法」(平成27年4月施行)の本格稼働を前に試行的に行われる事業です。

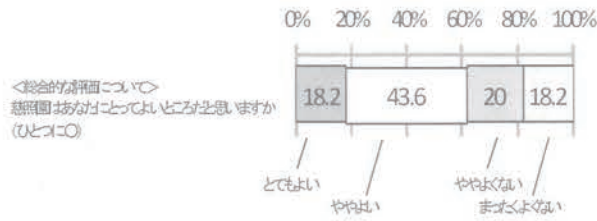
浜松市内にお住まいで生活に何らかの問題を抱えて経済的困窮状態にある方や、相談する窓口や制度がなく、社

は不足するサービスを開拓することがこの目的で大切にしながら、共に考えていくことが私たちの役割だと考えております。

利用者とともに関係機関に同行して説明を聞き、解説を加え、必要な手続きをサポートしています。「その人な

**サービス評価アンケート 集計結果報告
利用者編**

平成26年10月に、慈照園のサービス向上のため、慈照園入所利用者・デイサービスならびにご家族・身元引受人の皆様へ、慈照園のサービスに対するご意見・ご評価を伺いました。
(慈照園利用者55名、デイサービス利用者7名)



〈結果のまとめ〉

全体的には高い評価をいただきましたが、友人・地域の人などとの「楽しい」交流について45%と肯定的評価が少ないこと、総合評価で38%の利用者が否定的評価である点などは、今後検討が必要だと感じています。

今回のアンケートをもとに今後より一層の支援を心がけていきたいと思っております。

ご家族・身元引受人の方のアンケート結果は、次号でお知らせいたします。



浜松と言ったら「うなぎパイ」工場を見学しました♪

10月1日、利用者54名、通所利用者7名、職員16名が6名ずつのグループに分かれて、わがまち「浜松」の社会資源を体験する行事「わがまちめぐり」が開催されました。各グループでそれぞれどこへ行くか計画を立てました。観光するコースは全部で13コースにもなり、わがまち「浜松」を満喫することができました。普段、単独での外出が難しい利用者も全員参加することができました。館山寺の浜松動物園に行き、動物とのふれあいを楽しんだグループ、ゆっくり温泉に浸かり、スロウな時間を過ごしたグループ、バイキングでお腹いっぱいになったグループなど、みんなが満足した様子でした。

**わがまち浜松を
グループごとに散策**

11月8日「ふれあいまつり」が開催されました。利用者のご家族、民生委員、ボランティア、元職員の総勢51名が来園されました。午後から雨の予報でしたが、終日良い天気になり、多くの方とふれあういい機会になりました。利用者とは民生委員との面接では、慈照園での生活などを聞いて頂き、温かいお言葉の励みになりました。

**秋晴れの下
慈照園 ふれあいまつり**

懇談会では、園の支援状況や事業計画をお伝えし、保護者の方の意見をいただきました。屋敷は屋外でのパーティーです。焼き鳥、寿司などが人気のメニューでした。午後からは親睦交流会が行われました。チームごとに協力するゲームが行われ、地域の方やボランティア、そして利用者のご家族との絆を再認識できる良い機会になりました。



航空自衛隊広報館を体験

子で、一またわがまちめぐりをやって欲しい」と感想が挙がりました。皆がマナーを守り、全員笑顔で帰ってこることができ、社会とも触れ合える良い機会となりました。

**西部地区救護施設
親睦スポーツ大会**

11月8日浜北グリーンアリーナにてスポーツ大会が開催されました。前年度は優勝なだけに、緊張する中での大会となりました。グラウンドゴルフや輪投げなど、全部で6種類の種目が行われ、多くの声援が飛び交っていました。総合3位を獲得。浜松市の他の救護施設のみなさんとも親睦を深めることができました。慈照園という一つのチームで絆を感じる機会となりました。

苦情解決状況

平成26年9～12月分 12/20現在 苦情:1件 希望要望:4件 (4件解決1未解決)

性別	所属	内容	てんまつ
男性	利用者	生活の不満や健康状況について話を聴いてほしい。	苦情担当者が話を聞き、担当職員に伝えた。
男性	利用者	生活保護について話を聴きたい。	担当職員から説明を受けた。
女性	利用者	生活相談会相談会で、第三者委員に話を聴いてほしい。また業や体調についての助言をしてほしい。	生活相談会相談会で、第三者委員に話を聴いていただいた。また業や体調についての助言をしていただいた。
男性	利用者	自分の生活のことについて話を聴いてほしい。	生活相談会にて、第三者委員に、自身の生活状況について話を聴いていただいた。
男性	地域	外壁工事の騒音と埃を改善してほしい。	工事発注会社へ連絡し、社長がお宅訪問した。

ありがとう

【寄付】

- 菓子(株)トクン様
- 柿 三ツ矢ミホ子様
- みかん 匿名様
- 敬老祝花 加藤誠夫様
- 鉢花 蛸塚幼稚園様

【招待】

- 鴨江北町公民館まつり
- 西小学校音楽会

【ボランティア】

- 飯田いく子様
- 左右田慧子様
- 鈴木 繁夫様
- 武田 憲幸様
- 松原 正英様
- 三ツ矢ミホ子様

同行支援ボランティア

- 稲垣久美子様
- 坂本 昌広様

防災訓練の協力

- 鴨江北町防災隊様

観音様の日

毎月十八日は、観音様のご縁日です。導師様にご供養と法話をいただきました。

十月 新典院

- 増田 耕而様

十一月 宿蘆寺

- 小原 孝雄様

十二月 館山寺

- 館 賢聖様

《予定のご寺院》

- 一月 大安寺様
- 二月 大蔵寺様
- 三月 竜泉寺様

写真氏名は本人の同意の上、掲載しています。